

ロケ撮影における感染症予防対策チェックリスト(20230508Ver.)

[FC名:特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション]

作品名:

所属会社名及び所属先住所:

撮影現場責任者及び連絡先:

作品名 _____ のロケ撮影に関し、以下のロケ撮影における感染症予防対策を、責任をもって行うことを報告する。また、以下のすべての内容について確認が取れなければ、撮影支援が受けられない場合があることを承諾する。

令和5年5月8日付の感染症法における新型コロナウイルスの位置づけ変更に伴い、日常における基本的な感染対策については、自主的な感染対策のステージに移行され、個人の判断で基本的な業務を行うことになるが、地域におけるロケ撮影においては、地域の条件や各ロケ地の状況が異なるため、それらの事情を考慮した上で地域やロケ地のルールに沿って撮影を行うことを承諾する。また、それらの情報については、撮影に関わる全員が共有し、理解しておく。

また新型コロナウイルスに限らず、今後も発生しうるあらゆる感染性のある疫病に対する考え方や備え方については、対策、対処法の共通認識を理解し、共有していくものとする。

- マスクの着用については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とするが、高齢者等重症化リスクの高い方がいる場合や、換気の悪い場所、不特定多数の人がいるような混雑した場所等で撮影等を行う場合は、ロケ地管理者や FC 等と協議して、必要に応じて、スタッフのマスク着用を推奨する。
- 手指衛生を含む消毒については、ロケ地管理者や地域 FC 等と協議し、必要に応じて行う。
- 人口密度の高い場所や密閉した場所では、なるべく換気を心がけ、他者の健康にも配慮し、安全で安心なロケ撮影の環境づくりをする。
- ロケ地によっては、重傷リスクの高い人と接する機会があるため、各ロケ地の事情を考慮し、各ロケ地のルールや条件に沿った行動と対策を取ること。
- 感染が拡大した際には、地域 FC や自治体、ロケ地管理者等と協議し、時限的な対処方針を速やかに決定するとともに、各地域の状況を考慮した対策をとること。
- 流行が起こった際に柔軟にかつ迅速に対応できるように、ロケ撮影の際に備えるとともに、状況の変化に則して対応できるよう日頃から情報収集・共有を心がける。